

2020年06月02日(火)【外為L a b】松田哲
タイトル:【次のテーマ(材料)を探しているように映る】

新型コロナウィルス問題は、本当は、まだ終わっていないのだが、マーケット(外国為替市場、金融市場)は、新型コロナウィルス問題から目をそむけて、次のテーマ(材料)を探しているように映る。

新型コロナウィルスに関しては、今後、第二次感染、第三次感染の不安要素は残っているのだが、日本を含むアジアでの感染拡大は、いったん収まったように見える。

欧洲や北米での感染は、アジアでの感染よりも酷い状況だったが、当面のピークは越えた感がある。

しかしながら、南米やアフリカ、あるいはロシアなどは、これからも新型コロナウィルス問題が持続する可能性が高い。

それでも、目前のマーケット(外国為替市場、金融市場)は、特に、それを問題視している様子は見えない。

マーケットは、先を読む傾向が強いので、新型コロナウィルス問題終焉以降に目を向けて、次のテーマ(材料)を探しているのかもしれない。

あるいは、国際的な経済を考える際には、南米やアフリカの影響力は、相対的に小さいので、マーケットは、あえて、無視しているのだろうか?

この2、3か月の間に、世界の経済情勢は、大きく変化した、と考えます。

米国の失業問題を見ても、それは、壊滅的に悪化した数値であり、日本を見ても、緊急事態宣言で、景気の悪化は、これから顕在化する、と考えます。

現在のマーケット(外国為替市場、金融市場)は、それ(経済の悪化)を十分に理解した上で、成り立っている、と考えます。

しかし、今後の経済の悪化が当然に見込まれるにもかかわらず、一見、平穏に映る現在のマーケット(外国為替市場、金融市場)が、奇異に思えてなりません。

目前は平穏に映りますが、今後、世界的な大不況が来る可能性があることも、忘れずに臨みたい、と考えています。

++++++++++++++++++++

(2020年06月02日東京時間14:20記述)